

奥尻島

OKUSHIRI ISLAND

感覚が冴え渡る、島の非日常体験。

おすすめ!島の過ごし方をご紹介します

島唯一のネイチャーガイドで、ゲストハウスも営む外崎雄斗さん。島の魅力を知り尽くし、年間500人以上の旅人をアテンドする奥尻旅のプロが、島での過ごし方をご案内します。



ゲストハウス「imacoco」代表 外崎 雄斗さん

函館といった、海に慣れている方も“あえて”お連れする奥尻の海。皆さんの知る海とは一味も二味も違う絶景に、大いに興奮していただきます。

SUP・カヤック

抜群の透明度で誰もが驚く“奥尻ブルー”。この海をSUPやシーカヤックで巡る西海岸冒険ツアーは、究極の非日常をとことん味わえる特別な時間。期間は6月～9月、時間は150分、60分の2コースと、60分のサンセットコース(9月限定)がある。90%以上が初心者なのでご安心を。



島が誇る沢山の海の幸を支えるのは、山林の6割を占めるブナ林。ね、奥深いでしょ？



ブナ林ガイドツアー

大部分が深い森に覆われている奥尻島は『ブナの浮島』と呼ばれるほどブナが豊富。ツアーで見られるのは、早朝のブナ林がみせる光と影の静謐な光景。ハンモックや湧き水で淹れる珈琲もお楽しみ。静寂の中、感覚が冴え渡る。実施期間は3～10月中旬。

テントサウナ

砂浜のサウナは、ビーチのロケーションを存分に満喫できる贅沢体験。アロマの蒸気で汗をかいたら、目の奥尻ブルーへダイブ。実施期間は4～6月、9～10月。

水風呂の代わりに入る海では、潜ってよし、浮いてよし、フリースタイルでご自由に。

奥尻島の夜遊び

奥尻島は“夜遊び”も自然が舞台。漆黒の闇、満天の星空、月明かり、そして静寂。ここには、街では見ることのできない『本当の夜』がある。鑑賞場所は、ガイドが探し出した秘密のポイント。季節・天候によって、夜の磯遊び、真夜中のブナ林ツアー、焚火なども楽しめる。実施期間は4～10月の新月前後5日間。星空をバックに撮影した写真データのプレゼントもあり。

◎ここまで紹介したコースの詳細は「ゲストハウスimacoco」までお問合せください。

所 奥尻郡奥尻町湯浜100 ☎080-3237-8988

ポイントまではアイマスクで光を遮断し暗の準備も万全に。恐怖と感動が待っています。



深海松でお土産作り



漁の際に網にかかる深海松は古くから漁師の間で縁起物とされ、これを集め続ける“離島仙人”もいます。

深海松(紅色サンゴ)加工体験

『深海松』とは奥尻沖で水揚げされる虹色珊瑚のこと。これをアクセサリなどに加工して、世界にひとつだけのお土産作りを。屋外に出られない雨天時にもどうぞ。

所 奥尻郡奥尻町宇奥尻19-8 ☎090-2874-9484(離島仙人)



稲穂ふれあい研修センター (奥尻町歴史民俗資料展示室)

奥尻島北端の廃校となった小学校を改装した施設。出土した土器や石器のほか、古民具などを展示。勾玉作りなども気軽に体験できる。5～10月の毎週木・土曜日開館。

所 奥尻郡奥尻町稲穂162 ☎開館時：01397-2-2201 (稲穂ふれあい研修センター) 閉館時：01397-2-3890 (奥尻町教育委員会)

他にもこんな体験メニューが



震災ミニ講演

奥尻は震災・復興をとげた島。津波語り部隊員のオーナーが当時の震災体験を語ってくれる。室内講演(民宿木村さん家で開催)

所 奥尻郡奥尻町球浦143 ☎01397-2-2552(民宿木村さん家)



ベテラン船長による船釣り体験

ベテラン船長と一緒に沖に出て釣りが体験できる。季節によって釣れる魚が変わるので何度でも楽しめる。

所 奥尻郡奥尻町米岡1-9 ☎090-1644-4030



ウニむき身体験

奥尻島といえばウニ! 鮮度抜群のウニの殻むき体験。むいたウニはその場で食べられる。(7月中旬～8月上旬)青苗共栄部会(予約先:奥尻島観光協会)

所 奥尻郡奥尻町字青苗242 ☎01397-2-3456(奥尻島観光協会)